

<ポイント版> ぎふ経済レポート（平成 29 年 8 月分）

【景況感】

景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。

【製造業】一部で弱さも見られるが、全体としては持ち直しの動きが継続

○製造業は、5月の落ち込みの反動から輸送用機械（主に自動車産業）の生産が改善するなど持ち直しの動きが見られるが、弱さの見える業種もあり、強弱まちまちとなっている。全体としては緩やかな持ち直しの動きの中にあるとみられる。

【地場産業】厳しい状況が継続している

○地場産業は、海外製品等との競合、国内需要の低迷、原材料費高騰による収益の圧迫など厳しい状況が継続している。

【設備投資】投資実績は底堅く推移するとともに、投資意欲も改善している

○設備投資は、設備投資意欲が改善し、人手不足への対応のために「生産能力拡大・売上増」、「合理化・省力化」といったニーズが高まっている。国内の金属工作機械受注額が弱含んだものの一時的とみられ、総じて底堅く推移している。

【個人消費】消費は緩やかに回復しているものの、力強さに欠ける

○個人消費は、大型小売店等の売上は改善し、軽自動車の販売台数も引き続き堅調な推移を見せているが、新車販売台数は16ヶ月ぶりに減少し、実質賃金も伸び悩むなど、緩やかな持ち直しの動きが継続しつつも、力強さに欠ける。

【観光】観光客数、宿泊客数ともに減少している

○観光は、7月は台風が多数発生し、降水日・降水量が多く、また、休日に雨が降ることが多かったため、屋外施設を中心に入込客数が減少した。

【資金繰り】資金繰りは悪化傾向にあり、小規模企業には厳しい状況が継続

○企業の資金繰りは、借入難易感や金融機関の前向きな融資姿勢から、借入しやすい状況は継続しているが、資金繰りDIは悪化傾向にあり、事故報告件数が4ヶ月ぶりに増加、倒産も相応に発生するなど、小規模企業にとっては厳しい状況が継続している。

【雇用】雇用情勢の改善とともに、人手不足感が拡大している

○雇用面は、完全失業率、有効求人倍率、学生就職内定率等の関連指標は、良好に推移しており、総じて県内の雇用情勢は着実に改善している。但し、大手志向の強まりや、求人と求職のミスマッチ等により、多くの中小企業では採用難に陥っており、人手不足が慢性化している。